



2021年6月17日
東日本旅客鉄道株式会社
横浜支社

相模線への新型車両の投入について

JR東日本では、安全性・安定性、快適性を高め、安心してご利用いただける鉄道づくりを推進し、輸送品質の向上を追求しています。
このたび、相模線に新型車両を投入することとしましたので、お知らせします。
この新型車両は、車内の快適性向上、お客さまへの情報提供の充実、バリアフリー化の推進を図るとともに、モニタリング技術^(※)を活用することで、安全性・安定性の向上を実現します。

(※) モニタリング技術とは、各機器の状態を常時監視することで、運用中に機能確認を行なう技術のことです。

1. 形式および編成数

E131系

4両編成を12編成、合計48両を新造します。

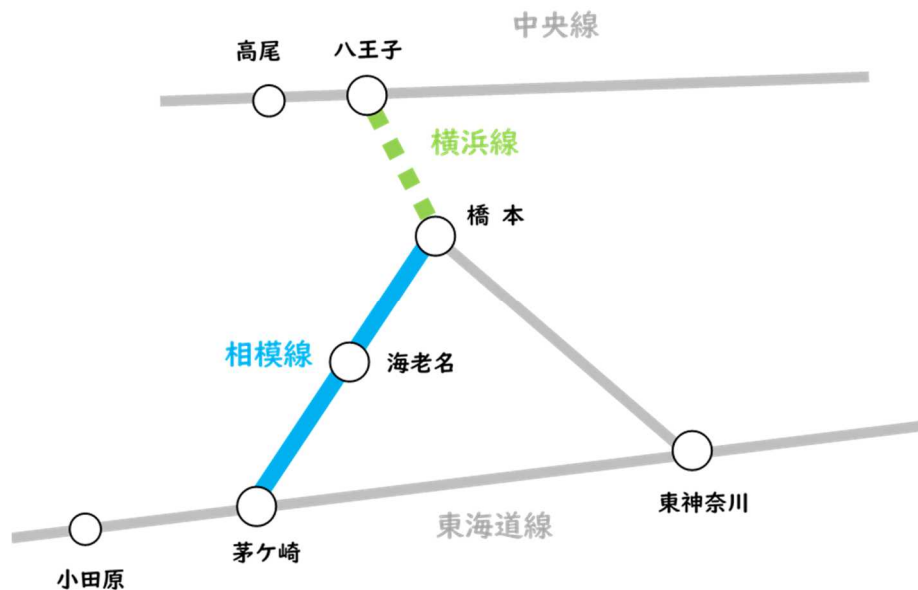
2. スケジュール

2021年秋頃から営業運転を予定しています。

3. 投入線区

相模線（茅ヶ崎～橋本間）

横浜線（橋本～八王子間）…朝夕一部の直通列車のみ



4. 主な特徴（別紙1、別紙2）

- ・車体の幅を広げ、座席幅を拡大するなど快適性を向上しています。
- ・運行情報や乗換案内を表示する大型ディスプレイ（17インチ）を一部のドア上部に設置し、情報提供の充実を図ります。
- ・車いすやベビーカーをご利用のお客さまのためのフリースペースを各車両に設けます。
- ・各車両の客室に車内防犯カメラを設置します。また、従来の車両では1両に1か所だった非常通報装置を4か所に増やし、セキュリティを向上します。
- ・車両側面にカメラを設置し、乗務員が運転台からお客さまの乗降を確認する機能など、ワンマン運転に対応した機器を搭載します。
- ・モニタリング技術を活用した車両搭載機器や線路設備の状態監視機能により、故障の予兆を把握し、事前に対処することでさらなる安全性・安定性向上を実現します。
- ・主回路機器にSiC（炭化ケイ素）半導体素子を採用することにより車両の消費電力を抑制し、環境性能を向上します。
- ・車両の前面デザインは、遠くまで広がる湘南の海とダイナミックな波の水しぶきを水玉模様で表現しております。また、前面と側面のカラーリングには、遠くまで広がる湘南の海をイメージした濃淡2色の青色を配しています。
- ・座席のカラーは、相模川の豊かな流れや湘南の海をイメージした爽やかなブルー系のツートンカラーとしています。

相模線向け新型車両の概要

■主な特徴

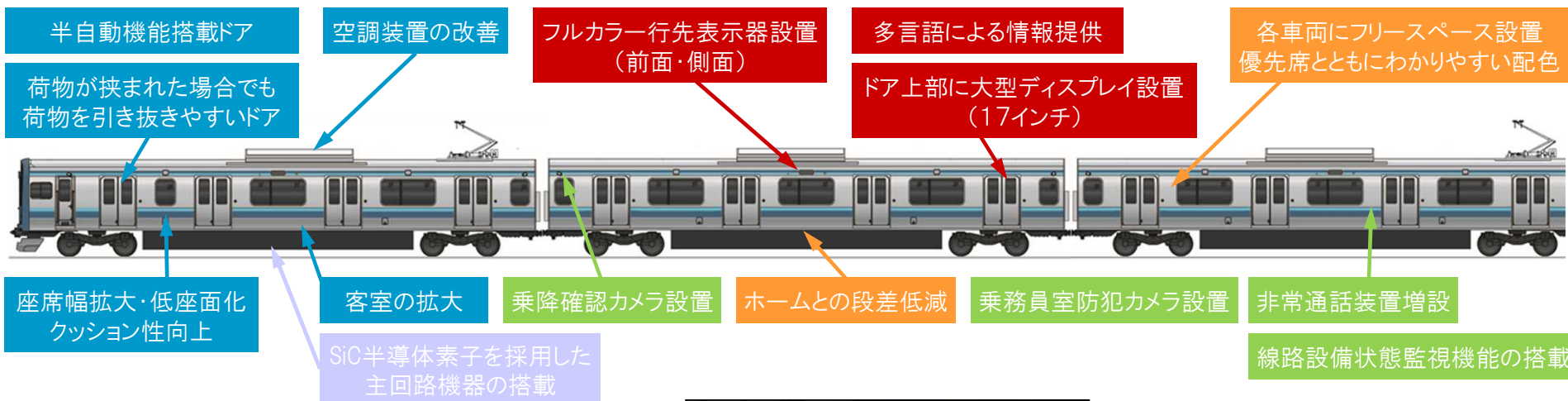
- 安全・安定性の向上
- 車内の快適性向上
- お客さまへの情報提供の充実
- バリアフリー化の推進
- 環境性能の向上



客室内
(イメージ)



フリースペース
(写真:E131系房総・鹿島)



多言語による情報提供画面
(イメージ)



乗降確認カメラ
(写真:E131系房総・鹿島)



線路設備状態監視
(写真:E131系房総・鹿島)

相模線向け新型車両の概要 ～205系との比較～

	 (参考)E131系房総・鹿島エリア	 E131系相模線	 205系
編成構成	2両編成(1M1T)	4両編成(2M2T)	4両編成(2M2T)
最高速度	110km/h	110km/h	100km/h
車体	ステンレス製	ステンレス製	ステンレス製
車体幅	2950mm(拡幅車体)	2950mm(拡幅車体)	2800mm
座席1人当たりの幅	460mm	460mm	約435mm
シート方式	ロング・セミクロスシート	ロングシート	ロングシート
制御方式	VVVFインバータ制御(SiC素子) 回生ブレーキ	VVVFインバータ制御(SiC素子) 回生ブレーキ	界磁添加励磁制御 回生ブレーキ
主電動機	全閉型誘導電動機	全閉型誘導電動機	直流電動機
補助電源装置	静止型インバータ	静止型インバータ	電動発電機
コンプレッサ	スクロール式(オイルフリー)	スクロール式(オイルフリー)	レシプロ式
車両情報管理装置	モニタ装置	モニタ装置	モニタ装置
戸閉装置	電気式(ラックアンドピニオン方式)	電気式(ラックアンドピニオン方式)	空気式
情報提供装置	液晶ディスプレイ	液晶ディスプレイ	なし
車両状態監視機能	あり	あり	なし
線路設備状態監視機能	あり(一部)	あり(一部)	あり(一部)
ワンマン運転対応機器 (乗降確認カメラ等)	あり	あり	なし